

科目名	担当教員名	学期
財務リスク管理 Financial Risk Management	石島 博	夏季 集中
目的	様々な財務リスクの定量的な管理方法を、理論と実践の両側面から修得することを目的とします。	
概要	<p>財務リスク管理の背景と意義などを捉えた上で、実践するための手法を関連するファイナンス理論とともに修得します。講義では、MS・Excelの機能を十分に利用した演習を数多く行ないます。</p> <p>&lt;Part 1&gt; 市場リスクと信用リスク 対象リスクをどのように定量的にモデル化し、管理するのか。背景にある理論を本質的に理解し、その実践スキルを修得します。</p> <p>&lt;Part 2&gt; 企業価値リスク 企業価値に関するリスクを、DCF法のフレームワークの中で、定量的にモデル化し、管理する手法を修得します。</p>	
到達目標	<p>ファイナンスとは、お金（マネー）の調達と投資のことをいいます。具体的には、調達・投資におけるマネーの流れ、つまりキャッシュフローを時間軸に沿ってモデリングし、情報を利用して評価・コントロール・計測することをいい、ファイナンス理論とはその学問体系をいいます。本講義では、そのうち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ モデリングの基本</li> <li>○ 評価（資産、ポートフォリオ、および企業の価値）</li> <li>○ 計測・コントロール（市場、信用、企業価値に関するリスク）</li> </ul> <p>を修得することを目標とします。</p>	
成績評価の基準と方法	理解度チェック（中間35%・期末35%）、および宿題・レポート・短いプレゼン（30%）によって相対評価します。	
履修条件	「ファイナンスⅠ」を取得していること。	
<b>授業計画</b>		
第1日	<p>[1] イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ DCF法と企業価値評価の概説</li> <li>・ 正規分布と確率・確率過程（その1：確率の基礎）</li> </ul> <p>[2] 資本コスト（CAPM、WACC、レバード／アンレバード<math>\beta</math>等）</p>	
第2日	<p>[1] 財務諸表の要約、フリーキャッシュフロー、様々な利益指標 比率分析</p> <p>[2] 見積財務諸表モデル（DCF法のインプリメンテーション）</p>	
第3日	<p>[1] 8つの企業価値評価方法と包含関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業価値リスクの計測（DCF法のインプリケーション）</li> </ul> <p>[2] まとめと中間理解度チェック</p>	
第4日	<p>[1] 正規分布と確率・確率過程（その2：正規分布と資産価格過程）</p> <p>[2] 市場リスク管理（その1：単一資産の市場リスク）</p>	

第5日	[1] 市場リスク管理 (その2: ポートフォリオの市場リスク) [2] 信用リスク管理 (構造アプローチ)
第6日	[1] まとめと期末理解度チェック [2] フィードバック
テキスト 参考書等	<p><b>【テキスト】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンドアウト</li> <li>・『バリュエーション・マップ』石島博著 (東洋経済新報社、2008年)</li> <li>・『ファイナンスの理論と応用2』石島博著 (日科技連出版社、2016年)</li> </ul> <p><b>【参考書】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『ファイナンスの理論と応用1』石島博著 (日科技連出版社、2015年)</li> </ul> <p>その他は、講義中に適宜、推薦します。</p>
その他 特記事項	特になし。